

令和元年度  
漁業担い手満足度調査 報告書

令和2年6月  
岩手県農林水産部水産振興課

# 目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
III 総 括	8
参考資料	10

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本県における「なりわい」としての漁業の魅力について、漁業者の満足度を指標として定量化するとともに、満足度に影響を与える要因を分析し、就業環境の改善などの漁業担い手対策の参考とするもの。

## 2 調査設計

(1) 調査対象：岩手県漁業士※（令和元年9月11日現在の名簿登載者）

※ 地域漁業の中核的な役割を担う者として、知事の認定を受けた者

(2) 調査対象者数：87人（青年漁業士19人、指導漁業士68人）

(3) 調査方法：設問票によるアンケート調査

(4) 調査時期：令和元年5～6月及び11月

## 3 調査項目

(1) 総合満足度：現状についての総合的な満足度

(2) 個別満足度：満足度に関係する可能性のある30項目についての満足度（4段階評価）

## 4 回収結果

(1) 有効回収数：57人（青年漁業士14人、指導漁業士43人）

(2) 回収率：65.5%

## 5 報告書の記載上の留意点

(1) 総合満足度は、「非常に不満」、「不満」、「やや不満」、「ふつう」、「やや満足」、「満足」、「非常に満足」の7段階評価とし、それぞれ「-3点」から「3点」までの1点刻みで数値化して分析。

(2) 個別満足度は、項目ごとに、「そう思う」、「まあ思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4段階で評価し、それぞれ「1点」から「4点」までの1点刻みで数値化して分析。

(3) 総合満足度は次の式で算定した。

$$\text{総合満足度（平均点）} = \frac{(\text{「非常に満足」} \times 3 \text{点}) + (\text{「満足」} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや満足」} \times 1 \text{点}) + (\text{「ふつう」} \times 0 \text{点}) + [\text{「やや不満」} \times (-1 \text{点})] + [\text{「不満」} \times (-2 \text{点})] + [\text{「非常に不満」} \times (-3 \text{点})]}{(\text{回答者数})}$$

※ 総合満足度は、-3.00点～3.00点の値で、高いほど満足度が高いことを表す。

(4) 総合満足度の要因分析は、総合満足度と個別満足度の相関係数により評価した。

(5) グラフ中の「n」は、各項目の回答者数を表す。

(6) 構成比については、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。

【参考：設問の構成】

◆「総合満足度」

項目	設問	評価基準※
総合満足度	あなたは、総合的に考えて、漁業者として働いていることにどの程度満足していますか。	7段階評価 ①非常に満足 ②満足 ③やや満足 ④ふつう ⑤やや不満 ⑥不満 ⑦非常に不満

※ 集計において、3点(非常に満足)～-3点(非常に不満)で採点し、平均点を算出した。

◆個別満足度（30項目）

要因区分	番号	項目	設問	評価基準
仕事	(1)	やりがい	漁業にやりがいを感じている。	4段階評価 ①そう思う ②まあそう思う ③あまり そう思わない ④そう思わない
	(2)	将来への希望	漁業者としての自分の将来に希望を感じている。	
	(3)	責任感	水産物の食料供給を担う責任ある仕事だと思う。	
	(4)	能力の活用	自分の能力が活かせる仕事だと思う。	
	(5)	生産物への誇り	自分の生産物や地域のブランドに誇りをもっている。	
	(6)	継続意欲	体力と意欲が続く限り働き続けられる仕事だと思う。	
自己の成長	(7)	成長期待	仕事を通じて人として成長できると思う。	同上
	(8)	自己啓発	自身の能力向上（試験研究、研修、講習会等）の機会に恵まれていると思う。	
経営目標	(9)	経営目標	自分には明確な経営目標がある。	同上
	(10)	経営規模拡大	現在の漁業経営の規模を拡大したい。	
	(11)	共同生産への興味	他の漁業者等との共同生産に興味がある。	
	(12)	後継者	後継者、又は後継者として見込んでいる者がいる。	
他の漁業者との関係	(13)	尊敬できる漁業者	地域に尊敬できる漁業者がいる。	同上
	(14)	漁業者間の信頼	必要ときに他の漁業者に相談できる環境にある。	
	(15)	漁業就業者支援	地域には、漁家子弟や未経験者の漁業就業を支援する環境が整っていると思う。	
地域住民や消費者との関係	(16)	地域とのつながり	近隣住民とのつきあいが多く、地域とのつながりが深い。	同上
	(17)	消費者とのつながり	消費者と対話する機会を積極的に確保している。	
漁協との関係	(18)	漁協への帰属意識	所属する漁協の組合運営や経営方針、取組等（「地域再生営漁計画」等）に理解を示している。	同上
	(19)	漁業秩序の維持	地域の漁業者はルールを守って操業している。	
	(20)	漁業権行使	十分な漁業権の行使機会に恵まれている。	
	(21)	漁協への信頼	必要ときに漁協に相談できる環境にあると思う。	
	(22)	役割の発揮	地域には年齢、経験、性別に応じて、それぞれの役割を発揮できる漁業生産環境が整っている。	
労働条件	(23)	仕事量・労働時間	現在の自分の仕事量や労働時間・休暇のバランスは、妥当な水準だと思う。	同上
	(24)	労働力	漁業生産のために十分な労働力が確保できている。	
	(25)	設備・機器	漁業生産のために十分な設備・機器が整っている。	
	(26)	漁場環境	漁場の生産環境は良好である。	
収入	(27)	単価水準	生産物の単価は妥当な水準だと思う。	同上
	(28)	評価基準	生産物の評価基準や評価体系は明確だと思う。	
	(29)	収入水準	現在の自分の収入は妥当な水準だと思う。	
	(30)	努力の反映	自分の努力は収入に適切に反映されていると思う。	

## Ⅱ 調査結果

### 1 回答者の属性

男女別	回答者数	構成比
男性	52	91.2%
女性	5	8.8%

漁業士区分別	回答者数	構成比
青年漁業士	14	24.6%
指導漁業士	43	75.4%

年齢階層別	回答者数	構成比
30代(30～39歳)	6	10.5%
40代(40～49歳)	17	29.8%
50代(50～59歳)	22	38.6%
60代(60～66歳)	11	19.3%
未回答	1	1.8%

主な漁業種類別	回答者数	構成比
養殖業	40	70.2%
漁船漁業	9	15.8%
採介藻漁業	8	14.0%

地区別	回答者数	構成比
県北	17	29.8%
宮古	16	28.1%
釜石	6	10.5%
大船渡	18	31.6%

年収階層別	回答者数	構成比
～ 200万円未満	8	14.0%
～ 400万円未満	3	5.3%
～ 600万円未満	5	8.8%
～ 800万円未満	7	12.3%
～1,000万円未満	9	15.8%
1,000万円以上	23	40.4%
未回答	2	3.4%

## 2 総合満足度の分析結果

### (1) 総合満足度の構成比

「非常に満足」～「やや満足」の回答者の割合は**54.4%**となり、平成30年度と比較して**低下**しました。また、「非常に満足」との回答はなく、「満足」との回答割合が**22.8%**となりました（図1）。

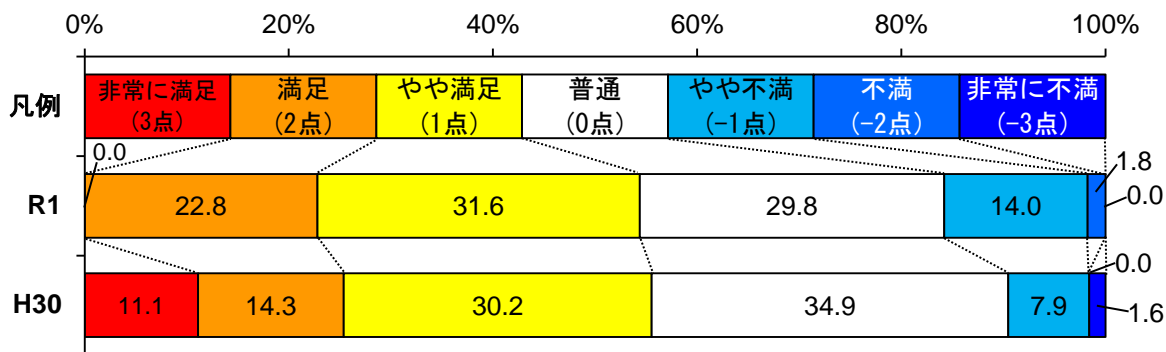


図1 総合満足度の構成比

### (2) 総合満足度（全体）

今年度の総合満足度はばらつきが大きく、平均して**0.60点**となり、平成30年度と比較して**低下**しました（図2）。

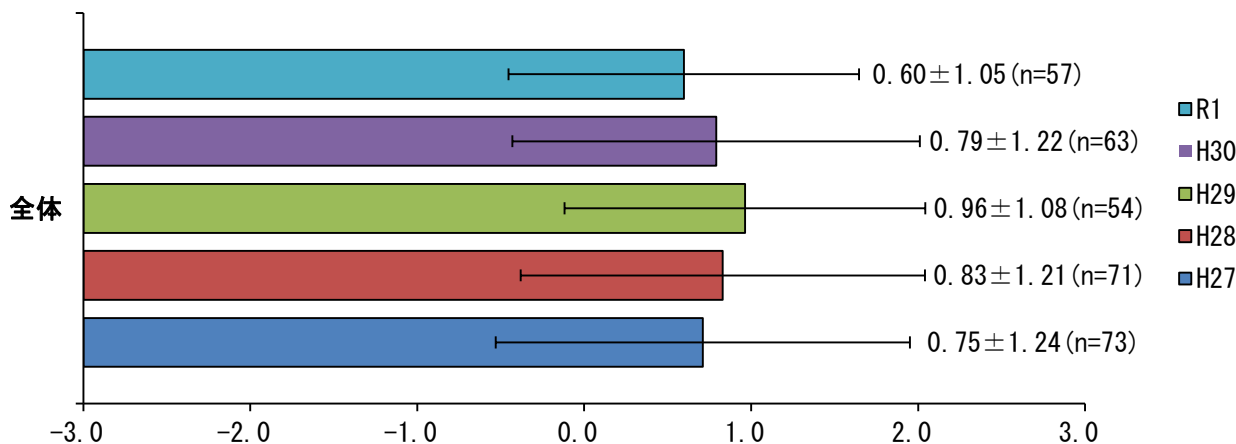


図2 回答者全体の総合満足度の推移

図中の数値は平均±標準偏差、()内は有効回答者数を表す。

### (3) 総合満足度（漁業種別）

漁業種類ごとの総合満足度では、「養殖業」で**0.55点**、「漁船漁業」で**0.56点**となり、平成29年度以降、**連続して低下**しました（図3）。

一方、「採介藻漁業」では**0.88点**となり、平成30年度から**上昇**し、「養殖業」や「漁船漁業」よりも高い数値となりました。

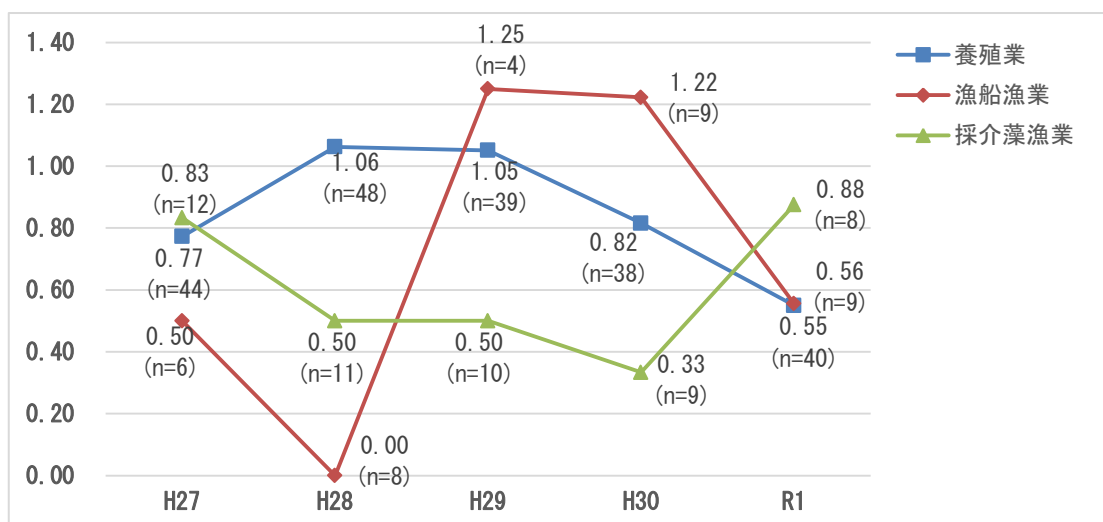


図3 漁業種類別の総合満足度の推移

( ) 内は有効回答者数を表す。

#### (4) 総合満足度 (収入階層別)

漁業者の年間収入 (漁業外収入を含む) について、1,000万円未満と1,000万円以上の集団に分類して総合満足度の推移を比較したところ、1,000万円以上の漁業者では、平成28年度以降低下傾向にあるものの、依然として1,000万円未満の漁業者よりも高い数値を維持しています。令和元年度では0.83点となり、「1,000万円未満」の倍近くの数値を示しています (図4)。

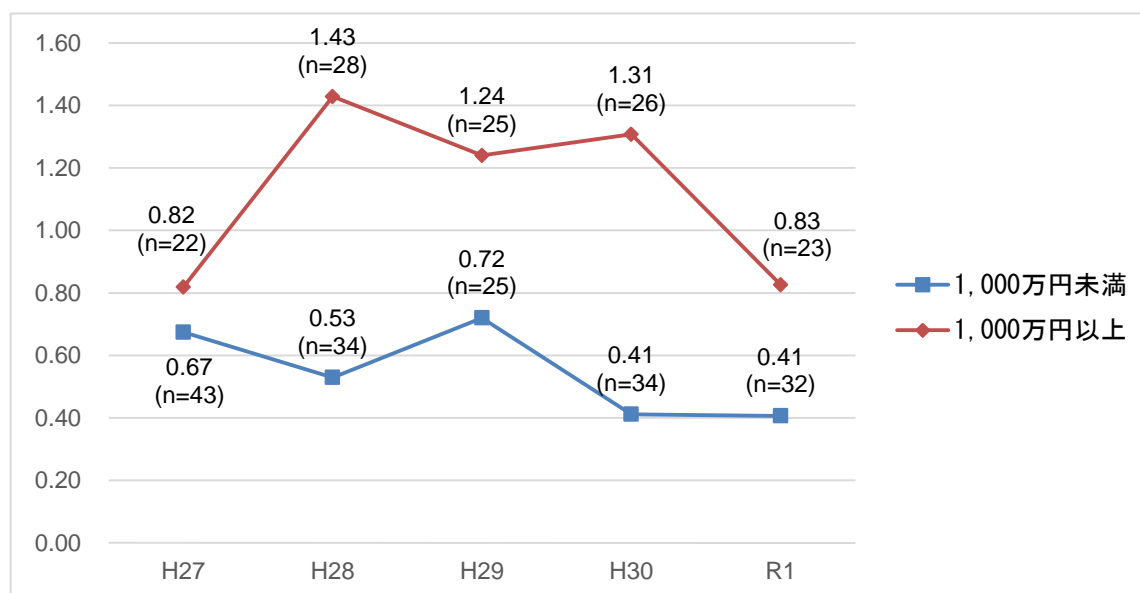


図4 「収入別」の総合満足度の推移

( ) 内は有効回答者数を表す。

### 3 総合満足度要因分析

30の個別項目について、総合満足度と個別満足度の相関係数で評価し、総合満足度と関係が強く、個別満足度の高い項目を「重要項目」と、総合満足度と関係が強いものの、個別満足度の低い項目を「課題項目」と定義しています。

(1) 総合満足度の要因（全体）

令和元年度調査における「重要項目」は、「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」、「継続意欲」及び「自己啓発」の5項目となり、「課題項目」は、「漁業就業者支援」となりました（図5）。

また、過去4年間の調査結果と比較すると、「やりがい」、「能力の活用」、「将来への希望」については、これまでと同様に総合満足度と強い相関を示していますが、過去に「重要項目」とされていた「成長期待」、「経営目標」、「努力の反映」については、総合満足度との相関が無くなりました（表1）。

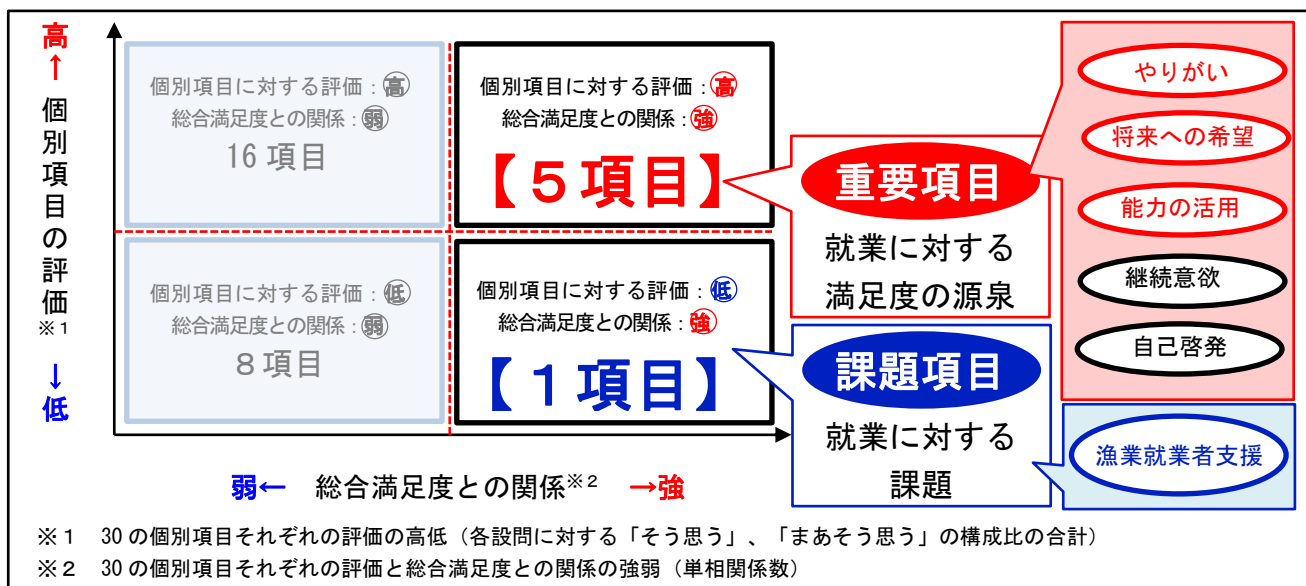


図5 総合満足度に関する要因

表1 「重要項目」と「課題項目」の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
重要項目	やりがい	やりがい	やりがい	やりがい	やりがい
	能力の活用	成長期待	能力の活用	能力の活用	将来への希望
	成長期待	将来への希望	経営目標	成長期待	能力の活用
	経営目標	仕事量	努力の反映	経営目標	継続意欲
	努力の反映	労働時間	将来への希望	努力の反映	自己啓発
	仕事量	住環境	生産物への誇り	収入水準	
	労働時間		自己啓発	継続意欲	
	地域とのつながり		漁業者間の信頼		
	住環境		漁協への信頼		
課題項目	将来への希望			将来への希望	漁業就業者支援
	収入水準				
	経営規模拡大				



(2) 総合満足度の要因（漁業種の別）

漁業種別の「重要項目」と「課題項目」を表2に示しました。

漁業種類により総合満足度と相関のある項目が大きく異なり、漁船漁業では、「やりがい」、「将来への希望」、「収入水準」の3項目であるのに対し、採介藻漁業では、非常に多くの項目が総合満足度に影響を与えており、さらに6項目の「課題項目」が挙げられました。

表2 漁業種別の「重要項目」と「課題項目」

	養殖業	漁船漁業	採介藻漁業		全体
重要項目	やりがい 将来への希望 能力の活用 継続意欲 自己啓発 漁協への信頼	やりがい 将来への希望 収入水準	将来への希望 責任感 能力の活用 生産物への誇り 継続意欲 成長期待 自己啓発 尊敬できる漁業者	漁協への信頼 役割の発揮 仕事量・労働時間 設備・機器 漁場環境 単価水準 収入水準	やりがい 将来への希望 能力の活用 継続意欲 自己啓発
課題項目			経営目標 共同生産への興味 後継者	漁業就業者支援 消費者とのつながり 評価基準	漁業就業者支援

(3) 総合満足度の要因（収入別）

年間収入別の「重要項目」と「課題項目」を表3に示しました。

年間収入が1,000万円未満の漁業者では、「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」、「継続意欲」、「自己啓発」が「重要項目」となったのに対し、年間収入1,000万円以上では、「やりがい」、「将来への希望」の代わりに「成長期待」など7項目が「重要項目」となりました。また、年間収入が1,000万円以上の漁業者では、「漁業就業者支援」が「課題項目」となりました。

表3 収入別の「重要項目」と「課題項目」

	1,000万円未満	1,000万円以上		全体
重要項目	やりがい 将来への希望 能力の活用 継続意欲 自己啓発	能力の活用 継続意欲 成長期待 自己啓発 漁協への帰属意識	漁業権行使 漁協への信頼 仕事量・労働時間 設備・機器 努力の反映	やりがい 将来への希望 能力の活用 継続意欲 自己啓発
課題項目		漁業就業者支援		漁業就業者支援

## Ⅲ 総括

### 1 「漁業担い手満足度」

#### (1) 総合満足度及び個別満足度（全体）

令和元年度調査の総合満足度の構成比において、「非常に満足」～「やや満足」の割合は依然として50%を超えているものの、その割合は徐々に低下しており、逆に、「やや不満」と回答した漁業者の割合が増加しました。

また、総合満足度は0.60点となり、平成29年度の0.96点から徐々に低下しています。「仕事量・労働時間」、「漁業就業者支援」、「漁業権行使」、「経営目標」、「設備・機器」、「労働力」の項目で個別満足度が低下したことが、総合満足度が低下した要因と考えられます。

今年度の調査では、「やりがい」、「将来への希望」、「継続意欲」、「能力の活用」などの「仕事」に関する項目の満足度は上昇していますが、「仕事量・労働時間」や「労働力」などの「労働条件」に関する項目の満足度が低下しており、次いで「漁業就業者支援」の項目が低下していることから、漁業就業者の高齢化や減少による労働力不足が漁業者の満足度を低下させたと考えられます。

#### (2) 総合満足度及び個別満足度（漁業種別）

##### ア 養殖業

令和元年度調査の総合満足度は0.55点となり、平成28年度の1.06点から徐々に低下しています。個別満足度では、「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」、「継続意欲」、「単価水準」、「漁協への帰属意識」の項目で満足度が上昇していますが、「仕事量・労働時間」、「漁業就業者支援」、「経営目標」、「設備・機器」、「地域とのつながり」、「労働力」、「役割の発揮」の項目で満足度が低下しており、総合満足度が低下した要因と考えられます。

また、養殖業においても、前述の全体結果と同様に、「やりがい」などの「仕事」に関する項目の満足度は上昇していますが、「仕事量・労働時間」や「労働力」などの「労働条件」に関する項目の満足度が低下しており、次いで「漁業就業者支援」の項目が低下していることから、漁業就業者の高齢化や減少による労働力不足が漁業者の満足度を低下させたと考えられます。

##### イ 漁船漁業

令和元年度調査の総合満足度は0.56点となり、平成30年度の1.22点から大きく低下しています。個別満足度では、「継続意欲」、「生産物への誇り」、「漁協への帰属意識」の項目で満足度が上昇しているものの、「仕事量・労働時間」、「後継者」、「漁業権行使」、「単価水準」、「漁業就業者支援」、「地域とのつながり」、「将来への希望」など多くの項目で満足度が低下しており、総合満足度が低下した要因と考えられます。

漁船漁業では、「継続意欲」、「生産物への誇り」など、「仕事」の要因区分の一部で満足度が上昇していますが、「自己の成長」以外の全ての要因区分で満足度が低下しています。特に、「労働条件」や「経営目標」、「収入」の要因区分で満足度が大きく低下しており、労働力不足や後継者不足、収入減が漁船漁業者の総合満足度を低下させたと考えられます。

## ウ 採介藻漁業

令和元年度調査の総合満足度は0.88点となり、平成30年度の0.33点から大きく上昇しました。個別満足度では、「責任感」、「共同生産への興味」、「漁業権行使」の項目の満足度が低下しているものの、「役割の発揮」、「漁業秩序の維持」、「地域とのつながり」、「漁場環境」、「尊敬できる漁業者」など多くの項目で満足度が上昇しました。

採介藻漁業では、他の漁業種類とは異なり、全ての要因区分で総合満足度との相関関係が示されました。特に、「漁協との関係」の要因区分で満足度が高くなっており、総合満足度が上昇した要因と考えられます。

### (3) 総合満足度及び個別満足度（漁業収入別）

#### ア 年間収入1,000万円以上

令和元年度調査の総合満足度は0.83点となり、平成30年度の1.31点から低下しました。「漁場環境」、「漁協への帰属意識」、「継続意欲」、「やりがい」などの項目で満足度は上昇しているものの、「仕事量・労働時間」、「設備・機器」、「後継者」、「地域とのつながり」、「漁業権行使」、「漁協への信頼」、「経営目標」の項目の満足度が低下しており、総合満足度が低下した要因と考えられます。

「1,000万円以上」では、「仕事量・労働時間」や「設備・機器」などの「労働条件」に関係する要因区分と、「後継者」などの「経営目標」の要因区分の満足度が低下していることから、漁業就業者の高齢化や減少による労働力不足に加え、後継者不足による先行きの不透明さが漁業者の満足度を低下させたと考えられます。

#### イ 年間収入1,000万円未満

令和元年度調査の総合満足度は0.41点となり、平成30年度と同値となりました。個別満足度では、「仕事量・労働時間」、「労働力」、「漁業就業者支援」等の項目が低下しましたが、「能力の活用」、「漁業秩序の維持」、「やりがい」、「将来への希望」の項目で上昇しており、総合満足度が維持された要因と考えられます。

「1,000万円未満」では、「仕事量・労働時間」や「労働力」など、「労働条件」に関係する項目の満足度が低下しており、次いで「漁業就業者支援」の項目の満足度が低下していることから、総合満足度を高めるには、労働力の確保に係る対策が必要と考えられました。

## 2 今後の対応等について

令和元年度調査では、総合満足度が低下し、漁業の「なりわい」としての魅力が低下していることが判明しました。また、総合満足度は、平成28年3月に策定した「岩手県漁業担い手育成ビジョン（平成28～31年度）」で定めた基本目標を下回り、満足度の向上対策が必要となっています。

多くの漁業者は、漁業に対し、「やりがい」などの「仕事」としての魅力を感じていることから、能力と意欲のある生産者の生産規模の拡大の取組や、養殖業や漁船漁業の漁業者では、「労働条件」や「経営目標」に対して、不満を感じていることから、漁労作業の省力化や共同生産体制の推進などの労働力の確保対策や、新規漁業就業者の着業支援の推進が必要であると考えられました。

(参考) 個別項目満足度評価総括表

要因区分	項目	全体		漁業種別						収入別			
		R1	H30	養殖業		漁船漁業		採介藻漁業		1,000万円以上		1,000万円未満	
				R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30
仕事	やりがい	1.649	1.871	1.575	1.838	1.778	1.667	1.875	2.222	1.391	1.538	1.844	2.118
	将来への希望	2.228	2.393	2.175	2.405	2.444	2.111	2.250	2.625	2.087	2.154	2.344	2.606
	責任感	1.804	1.770	1.750	1.838	1.778	1.556	2.143	1.625	1.783	1.769	1.806	1.758
	能力の活用	1.709	1.873	1.795	1.921	1.500	1.444	1.500	1.889	1.864	1.731	1.613	1.971
	生産物への誇り	1.661	1.714	1.650	1.605	1.625	1.778	1.750	1.889	1.652	1.615	1.677	1.794
	継続意欲	1.554	1.710	1.600	1.789	1.250	1.444	1.625	1.625	1.591	1.769	1.531	1.697
自己の成長	成長期待	1.929	1.968	1.975	1.919	1.667	1.778	2.000	2.111	1.870	1.923	1.935	2.000
	自己啓発	2.158	2.161	2.250	2.162	2.000	2.111	1.875	2.000	2.174	2.115	2.156	2.212
経営目標	経営目標	2.309	2.226	2.333	2.081	1.875	1.889	2.625	2.778	2.043	1.885	2.533	2.455
	経営規模拡大	2.456	2.581	2.375	2.421	2.556	2.667	2.750	2.778	2.217	2.269	2.594	2.788
	共同生産への興味	2.946	2.919	3.026	3.079	2.667	2.500	2.875	2.556	3.000	2.962	2.968	2.879
	後継者	2.815	2.823	2.821	2.730	2.625	2.111	3.000	3.111	2.591	2.320	3.033	3.147
他の漁業者との関係	尊敬できる漁業者	1.964	2.032	1.974	1.947	2.333	2.111	1.500	1.889	1.864	1.923	1.969	2.059
	漁業者間の信頼	1.877	1.902	1.750	1.816	2.444	2.222	1.875	2.000	1.565	1.680	2.063	2.030
	漁業就業者支援	2.964	2.806	3.026	2.757	3.000	2.667	2.625	2.778	2.955	2.808	2.968	2.788
地域住民や消費者との関係	地域とのつながり	1.947	1.871	2.050	1.919	2.111	1.778	1.250	1.889	2.043	1.800	1.844	1.912
	消費者とのつながり	2.737	2.810	2.775	2.842	2.778	2.778	2.500	2.556	2.826	2.962	2.688	2.735
漁協との関係	漁協への帰属意識	2.281	2.484	2.350	2.459	2.444	2.667	1.750	2.111	2.217	2.423	2.344	2.576
	漁業秩序の維持	1.912	2.063	2.075	2.000	1.778	1.889	1.250	1.889	1.957	1.846	1.906	2.235
	漁業権行使	2.179	2.032	2.103	2.053	2.667	2.125	2.000	1.667	2.087	1.846	2.226	2.182
	漁協への信頼	2.018	1.984	1.975	1.921	2.444	2.333	1.750	1.889	2.043	1.846	2.000	2.059
	役割の発揮	2.404	2.459	2.550	2.432	2.333	2.375	1.750	2.556	2.304	2.385	2.469	2.500
労働条件	仕事量・労働時間	2.491	2.032	2.525	2.053	2.667	1.778	2.125	2.111	2.348	2.038	2.563	2.000
	労働力	2.661	2.556	2.769	2.658	2.444	2.333	2.375	2.333	2.652	2.731	2.645	2.382
	設備・機器	2.368	2.222	2.475	2.289	2.333	2.111	1.875	2.111	2.348	2.038	2.406	2.324
	漁場環境	2.214	2.349	2.179	2.263	2.667	2.444	1.875	2.333	2.000	2.308	2.344	2.382
収入	単価水準	2.263	2.403	2.225	2.405	2.667	2.222	2.000	2.222	2.217	2.308	2.281	2.485
	評価基準	2.500	2.484	2.475	2.405	2.667	2.444	2.429	2.444	2.478	2.385	2.516	2.545
	収入水準	2.232	2.254	2.200	2.237	2.333	2.111	2.286	2.333	2.000	1.962	2.387	2.441
	努力の反映	2.088	2.111	2.100	2.132	2.111	2.000	2.000	2.000	2.043	1.923	2.094	2.206

# (別紙) 令和元年度 漁業担い手満足度調査【調査票】

本県の漁業就業者は、後継者不足と相まって高齢化と減少が続いており、新規就業者の確保が喫緊の課題です。本調査は、漁業者のリーダー的存在である漁業士の皆さんを対象に、日々の仕事に対する満足度やその源泉となる要因を把握することで、本県における漁業就業の魅力として誇れるものや不足しているものを共有し、漁家子弟・未経験者の漁業就業への動機付けや就業環境の改善を図るための参考とするものです。本調査の趣旨を御理解いただき、御協力お願いいたします。

※ 本調査で得た情報については、目的以外には使用しません。  
また、集計結果のみを使用するため、個人情報がそのまま外部に漏れることはありません。

◆ 漁業に関するさまざまな項目について、あなたの満足度をお伺いします。

問1. あなたは総合的に考えて、現在の漁業の仕事や環境にどの程度満足していますか。7段階評価（1～7、小さいほど「満足」）でご回答ください。

(回答欄)

非常に「満足」 ← 1      2      3      4      5      6      7 → 非常に「不満」

← 非常に「満足」      非常に「不満」

問2. 次の各項目について、どのように感じていますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

	そう 思う	まあ そう 思う	あまり そう 思わない	そう 思わない
(1) 漁業にやりがいを感じている。	1	2	3	4
(2) 漁業者としての自分の将来に希望を感じている。	1	2	3	4
(3) 水産物の食糧供給を担う責任ある仕事だと思う。	1	2	3	4
(4) 自分の能力が活かせる仕事だと思う。	1	2	3	4
(5) 自分の生産物や地域のブランドに誇りをもっている。	1	2	3	4
(6) 体力と意欲が続く限り働き続けられる仕事だと思う。	1	2	3	4
(7) 仕事を通じて人として成長できると思う。	1	2	3	4
(8) 自身の能力向上（試験研究、研修、講習会等）の機会に恵まれていると思う。	1	2	3	4
(9) 自分には明確な経営目標がある。	1	2	3	4
(10) 現在の漁業経営の規模を拡大したい。	1	2	3	4
(11) 他の漁業者等との共同生産に興味がある。	1	2	3	4
(12) 後継者、又は後継者として見込んでいる者がいる。	1	2	3	4
(13) 地域に尊敬できる漁業者がいる。	1	2	3	4
(14) 必要なときに他の漁業者に相談できる環境にある。	1	2	3	4
(15) 地域には、漁家子弟や未経験者の漁業就業を支援する環境が整っていると思う。	1	2	3	4
(16) 近隣住民とのつきあいが多く、地域とのつながりが深い。	1	2	3	4
(17) 消費者と対話する機会を積極的に確保している。	1	2	3	4
(18) 所属する漁協の組織運営や経営方針、取組等（「地域再生営漁計画」等）に理解を示している。	1	2	3	4
(19) 地域の漁業者はルールを守って操業している。	1	2	3	4

【裏面に続きます】

	そう 思う	まあ そう 思う	あまり そう 思わない	そう 思わない
(20) 十分な <u>漁業権の行使機会</u> に恵まれている。	1	2	3	4
(21) 必要なときに <u>漁協に相談</u> できる環境にあると思う。	1	2	3	4
(22) 地域には年齢、経験、性別に応じて、 <u>それぞれの役割を発揮</u> できる漁業生産環境が整っている。	1	2	3	4
(23) 現在の自分の <u>仕事量や労働時間・休暇のバランス</u> は 適切な水準だと思う。	1	2	3	4
(24) 漁業生産のために十分な <u>労働力</u> が確保できている。	1	2	3	4
(25) 漁業生産のために十分な <u>設備・機器</u> が整っている。	1	2	3	4
(26) <u>漁場の生産環境</u> は良好である。	1	2	3	4
(27) <u>生産物の単価</u> は適切な水準だと思う。	1	2	3	4
(28) <u>生産物の評価基準や評価体系</u> は明確だと思う。	1	2	3	4
(29) 現在の自分の <u>収入</u> は適切な水準だと思う。	1	2	3	4
(30) 自分の <u>努力</u> は収入に適切に反映されていると思う。	1	2	3	4

◆ あなたご自身のことについてお伺いします。

問3. 各項目について、あてはまる番号（複数ある場合は主なもの1つ）に○印をつけてください。

① 所 属 ..... 1. 県北 2. 宮古 3. 釜石 4. 大船渡

② 属 性 ..... 1. 指導漁業士 2. 青年漁業士

③ 性 別 ..... 1. 男 2. 女

④ 年 齢 ..... 1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳 4. 50～59歳 5. 60歳以上

⑤ 漁業就業年数 ..... 1. 10年未満 2. 10～20年未満 3. 20～30年未満 4. 30～40年未満 5. 40年以上

※家族従事者（手伝い）としての就業期間も含めた通算期間

⑥ 平成30年度の年間収入 ..... 1. 200万円未満 2. 200～400万円未満 3. 400～600万円未満

※漁業外収入を含む ..... 4. 600～800万円未満 5. 800～1,000万円未満 6. 1,000万円以上

⑦ 主な漁業種類 ..... 1. 漁船漁業 2. 養殖業 3. 採介藻漁業 4. その他

問4. 平成30年度における主な生産物・漁獲物について、販売金額が多い順にご記入願います。

（回答欄）

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_

◆ 本年度に開講した「いわて水産アカデミー」\*や新規漁業就業者の確保・育成に関して、御提案や御意見がありましたら、ご記入願います。

\* 漁業就業希望者の育成・地域への定着を目的とし、漁業関係団体、県団体及び各市町村の育成協議会で連携して設立された研修機関。

設問は以上です。御協力ありがとうございました。

令和元年度 漁業担い手満足度調査結果報告書

令和2年6月

岩手県農林水産部水産振興課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

電話 019-629-5819 FAX 019-629-5824